

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業実施期間	令和5年度～令和9年度（5年間）
事業実施地区名 （都道府県名）	（よねしろがわ） 米代川森林計画区 （秋田県）	事業実施主体	東北森林管理局 よねしろとうぶ 米代東部森林管理署 米代東部森林管理署上小阿仁支署 よねしろせいぶ 米代西部森林管理署
事業の概要・目的	<p>本事業は、秋田県の北部に位置する^{のしろ}能代市などの6市6町1村にまたがる約209千haの国有林野を対象としている。</p> <p>本計画区の国有林野は、優れた自然環境を有する地域が多く、東アジアで最大の原生的なブナ林が大面積にわたって維持されている地域を「白神山地森林生態系保護地域」に設定するとともに、「白神山地世界遺産地域」、「^{とわだはちまんたい}十和田八幡平国立公園」、「^{おが}男鹿国定公園」、「^{もりよしやま}森吉山県立自然公園」、「白神山地自然環境保全地域」等に指定されている。これらの地域は、温泉やスキー場の施設が整備されているとともに、^{おおだて}能代市、大館市等の都市部から比較的アクセスの良い立地条件にあることから、登山、散策等の森林を利用したレクリエーションや保健休養の場として四季を通じて多くの人々に利用されている。</p> <p>林業・木材産業については、藩政時代から優良な天然秋田杉の産地として知られており、豊富な森林資源を背景に木材関連産業が地域経済の中で大きな役割を果たしてきた。現在も全国有数のスギ人工林資源を有しており、地域にとって国有林からの木材の安定供給への期待は依然として高い。</p> <p>また、本計画区の国有林野の93%が保安林に指定されており、水源涵養^{かん}や土砂流出防備等に重要な役割を果たしている。また、沿岸部の一部は飛砂防備保安林及び潮害防備保安林に指定されており、後背地にある住宅地等の保護等の重要な役割を果たしている。</p> <p>森林の現況は、人工林を中心とする育成林が約101千ha、天然生林が約97千haとなっており、人工林の主な樹種ではスギ（84%）が主体となっている。</p> <p>人工林の齢級構成については、11齢級をピークとした一山型であり、10 齢級以上が7割以上と、利用期に達している林分が増加しており、主伐、間伐を見据えた路網整備や主伐後の確実な更新とその後の保育が必要となっている。</p> <p>このため、本事業は、森林の有する水源涵養機能、土砂流出防止機能、保健文化機能などの公益的機能の持続的な発揮と併せ、木材の安定供給、地球温暖化の防止及び地域の活性化にも寄与するため、地域特性や現地の状況、社会情勢及び事業評価の結果を踏まえ、植栽や間伐等の森林整備を積極的に実施するとともに、森林整備の効率的な実施に必要な路網を整備する。</p> <p>なお、事業実施に当たっては、伐採造林の一貫作業システムやコンテナ苗を活用した更新作業、下刈回数の低減、列状間伐の実施等により低コストで効率的な</p>		

	<p>作業を推進するとともに、生物多様性の保全に配慮した森林施業や路網整備における柵工等木材利用の促進に取り組む。</p> <p>また、地元からの意見として、低コスト造林の取組を民有林と国有林で強力で連携していきたいとの意見があったことから、より一層の関係機関と連携した取組を推進していく。また、松くい虫等の森林病虫害の拡大防止対策についての要望があったことから、関係機関と被害状況の情報共有を図るなど連携した取組を行うとともに、適切な被害対策を講じる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 主な事業内容 <table border="0" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>森林整備</td> <td>更新面積</td> <td>3,395 ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td>保育面積</td> <td>23,383 ha</td> </tr> <tr> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>25.9 km</td> </tr> <tr> <td></td> <td>改良延長</td> <td>4.4 km</td> </tr> </table> ・ 総事業費 23,917,406千円（税抜き 21,743,096千円） 	森林整備	更新面積	3,395 ha		保育面積	23,383 ha	路網整備	開設延長	25.9 km		改良延長	4.4 km
森林整備	更新面積	3,395 ha											
	保育面積	23,383 ha											
路網整備	開設延長	25.9 km											
	改良延長	4.4 km											
費用便益分析	<table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td>総便益（B）</td> <td style="text-align: right;">86,008,495千円</td> </tr> <tr> <td>総費用（C）</td> <td style="text-align: right;">27,963,237千円</td> </tr> <tr> <td>分析結果（B／C）</td> <td style="text-align: right;">3.08</td> </tr> </table>	総便益（B）	86,008,495千円	総費用（C）	27,963,237千円	分析結果（B／C）	3.08						
総便益（B）	86,008,495千円												
総費用（C）	27,963,237千円												
分析結果（B／C）	3.08												
森林管理局事業評価技術検討会の意見	<p>効率的な森林整備と路網整備を行うことにより、公益的機能の発揮による生活環境の向上と木材生産等を通じた地域振興への寄与が期待されることから、事業実施の必要性が認められる。</p>												
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性： 地球温暖化防止対策や災害復旧を含む国土保全、水源涵養等の公益的機能の発揮や事業の実施を通じて生産されるスギ等の木材を安定供給することにより地域の林業・木材産業に寄与することから、本事業の必要性が認められる。 ・ 効率性： 森林整備では、一貫作業システム、下刈回数等の低減等による低コストで効率的な作業システムの定着を図ることとしており、路網整備では、開設・改良により森林整備箇所へのアクセス性や集材効率を向上させるなど、効率的な森林整備と路網整備を行うこととしており、費用便益分析の結果からも本事業の効率性が認められる。 ・ 有効性： 森林の現況や路網の整備状況を踏まえた事業内容であり、計画的な保育等の適切な森林整備や、これと連携した路網整備により、森林の有する公益的機能を十分発揮させるものとなっているほか、完了後の評価結果を踏まえた事業内容となっており、本事業の有効性が認められる。 <p>新規採択チェックリスト、費用便益分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備が計画されているものと認められる。</p>												

様式1

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名：森林環境保全整備事業(国有林)

都道府県名：秋田県

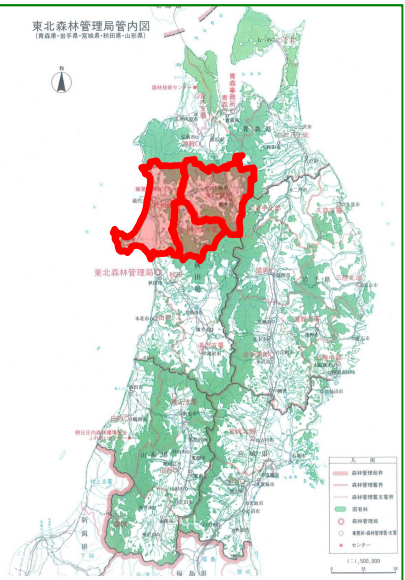
施行箇所：米代川森林計画区

(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評 価 額	備 考
水源涵養便益	洪水防止便益	16,986,365	
	流域貯水便益	6,218,308	
	水質浄化便益	23,057,693	
山地保全便益	土砂流出防止便益	16,063,155	
環境保全便益	炭素固定便益	6,372,193	
木材生産等便益	木材生産経費縮減便益	5,681	
	木材利用増進便益	58,606	
	木材生産確保・増進便益	5,885,437	
森林整備経費縮減等便益	森林整備促進便益	11,361,057	
総 便 益 (B)		86,008,495	
総 費 用 (C)		27,963,237	
費用便益比	$B \div C = \frac{86,008,495}{27,963,237} = 3.08$		

森林環境保全整備事業 米代川森林計画区（秋田県）

米代川森林計画区位置図
(米代東部森林管理署・
米代東部森林管理署上小阿仁支署・
米代西部森林管理署)



位置図

